

大型低騒音風洞は、建設から25年を迎えました。これまで、RRRの特集として2006年8月号の「風洞技術センター10周年」、2011年8月号の「大型低騒音風洞」、2016年11月号の「大型低騒音風洞20周年」、そして今号の「大型低騒音風洞を利用した鉄道の技術開発」と5年に1度のペースで大型低騒音風洞の特集をお届けしております。

空気は私たちにとって身近な存在ですが、その動き（流れ）やそれにより引き起こされる現象は非常に複雑で、机上の理論のみではなかなか技術開発は進みません。風洞は、空気の流れを制御した実験を行うことができるため、空気に起因した現象の解明に役立ちます。今後も大型で低騒音という風洞の特長を

いかした技術開発が進むと期待されます。

さて、次号の特集は「安全で快適な鉄道車両をめざして」をお届けします。鉄道車両の安全性の向上や乗り心地向上のための研究開発をご紹介します。

なお、次号からは隔月刊となり、第4号は5月1日に発行いたします。これに合わせて、紙面の刷新・充実を図り、鉄道の研究開発の取り組みをより一層わかりやすく、タイムリーに読者の皆様にお届けいたしますのでご期待ください。今後とも、RRR (Railway Research Review) をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(T.O.)